

ゼロからコトを生み出し、

自分の力で一歩を踏み出してみる。

起業家たちが持っている、

特別な力を身に付けて、

自分の可能性を広げよう

起業家体験！

SMALL START

～心から「欲しい」モノを生み出してみよう！～

参加者全員に
修了証が授与されます。

DAY 1

12/26(木)

豊田市で過ごす日常から
新商品を考えてみよう

DAY 2

1/13(月・祝)

新商品のアイデアを
磨いてみよう

DAY 3

1/19(日)

新商品をよりよく
するために調査しよう

DAY 4

2/2(日)

新商品の魅力を
人に伝えよう

高校生の
参加者
募集

豊田市ゆかりの起業家が
サポートします！

12月26日(木)～2月2日(日) 全4回連続講座
ものづくり創造拠点 SENTAN 他

参加費：無料
募集人数：30名程度
対象：豊田市内在住・在学の高校生
締め切り：12月13日(金)



お友達を誘ってエントリーも大歓迎！申し込みはこちら▲

■ イベント概要

● プログラム内容

- DAY 1 12月26日 (木) 豊田市で過ごす日常から新商品を考えてみよう
- DAY 2 1月13日 (月祝) 新商品のアイデアを磨いてみよう
- DAY 3 1月19日 (日) 新商品をよりよくするために調査しよう
- DAY 4 2月2日 (日) 新商品の魅力を人に伝えよう

高校生向け探究学習プログラム「スモールスタート」を活用し、リーンスタートアップ※の考え方をベースに商品開発を行います。発想力や創造力、失敗を恐れず挑戦し続ける姿勢といった、近年注目されている起業家精神（アントレプレナーシップ）を育みます。アントレプレナーシップは起業家だけに必要な精神ではなく、VUCA※の時代に重要なマインドの一つです。

※リーンスタートアップとは：できるだけ少ない費用や手順で最低限の製品を作り、顧客の反応を繰り返し確認することで方向性を定め、ビジネスを無駄なく回していくマネジメント手法のこと

※VUCA（ブーカ）とは、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）という4つの単語の頭文字をとった言葉で、目まぐるしく変転する予測困難な状況を意味します。

● 会場・アクセス

DAY1、3、4 ▶ ものづくり創造拠点 SENTAN（名鉄豊田市駅より徒歩約10分）

DAY2 ▶ 豊田市青少年センター（名鉄豊田市駅より徒歩6分・愛環新豊田駅より徒歩4分）

参加費
無料

お申し込み▼



■ サポーター



鬼木 利恵
おにきりえ

愛と勇気を胸に、
楽しんでください！

株式会社 eight 代表取締役
株式会社リクルート（東京・名古屋）にて人材採用に関する営業、営業チーム、人事採用を経験。2011年独立。娘3人を育てながら、夫の転勤や転職とともに働き方を変え、働くことが楽しみな社会をつくりたいと奔走中。



坂田 聖一郎
さかた せいいちろう

起業は最高に楽しくって、
最高に厳しい世界。
だからこそ仲間が本当に大切！

株式会社ドラゴン教育革命 代表取締役
愛知教育大学を卒業し、NSC 吉本総合芸能学院にてお笑いコンビ活動に取り組みものの解散し、大学院にて勉強に励む。その後定時制高校の講師、豊田市の公立小中学校教諭として12年間勤務。現在は、2社の社長として教員向けコーチングや起業コンサルタントを行っている。

■ 講師

ここだけの経験！
一緒に「本当に欲しいもの」を
練り上げましょう！



教育と探求社
内田 美涼
うちだ みすず

明治大学国際日本学部を卒業し、卒業とともに中高英語の教員免許を取得。「自分らしく、生きる。」の会社理念に共感し2021年に教育と探求社に入社。現在、学校コーディネーターとして愛知県の中高の探究学習に伴走している。

“起業”だけでない、
いろんな“一歩”を
全力で応援します！



教育と探求社
佐原 大河
さはら たいが

大阪大学理学研究科高分子科学専攻を卒業し、公立高等学校理科教諭として7年間勤務。そこで教育現場の課題感を認識し、2020年に教育と探求社に入社。教育のアップデートにむけて全国の自治体・先生とともに学びを深めている。

教育と探求社とは

2005年に創立。現実社会と連動して生きる力を育む教育プログラム「クエストエデュケーション」を全国の学校に提供しており、現在全国42都道府県440校約88,000名（2024年3月末時点）の生徒たちが学んでいます。

■主 催 豊田市



■運営事務局 株式会社 教育と探求社

教育と探求社
EDUCA & QUEST

■連絡先 豊田市 市民活躍支援課ものづくりサポートセンター（0565-47-1260 / monozukuri@city.toyota.aichi.jp）